



2025年度

(2024年10月～2025年9月)

ea
®環境省
エコアクション21
認証番号0010767

環境経営レポート

発行日：2025年11月21日



NEXT Alert

東北警備保障株式会社

T992-0119 山形県米沢市アルカディア1丁目808番地17

TEL0238-29-0005 FAX0238-29-0015

<http://www.next-alert.co.jp>



～ 目 次 ～

1. 環境経営方針	p1
2. 組織の概要	p2
2-1. 事業者名及び代表者氏名	
2-2. 所在地	
2-3. 環境管理責任者及び担当者連絡先	
2-4. 設立年月日	
2-5. 資本金	
2-6. 事業活動の内容と対象サイト（認証・登録範囲）	
2-7. エコアクション21実施体制	
2-8. 事業の規模	
3. 環境経営目標とその実績	p3~10
3-1. 環境負荷の現状（2025年度環境負荷自己チェック結果より）	
3-2. 環境経営目標（単年度・中期）と達成状況	
4. 環境経営計画と取組結果並びに次年度の取組内容	p10~11
4-1. 環境経営計画の取組状況の評価	
4-2. 次年度の取組内容	
5. 環境関連法規等の順守状況、訴訟等の有無	p12
5-1. 適用を受ける環境関連法規等とその順守状況	
5-2. 訴訟等の有無	
6. 代表者による全体の評価と見直し・指示の結果	p12



かねたん
米沢市マスコット
キャラクター

米沢市は、上杉家家臣で文武兼備の智将として名高い直江兼続（なおえかねつぐ）ゆかりの地です。



私たちは、SDGsとの関連性を強く意識してEA21の取組を推進していきます。

東北警備保障株式会社

環境経営方針

<基本理念>

東北警備保障株式会社は、警備業務、施設管理、清掃業務等の事業活動を行っていますが、その過程において、化石燃料や電力などのエネルギーを消費し、廃棄物の発生も伴います。環境関連法規等を順守しつつ、それらの環境負荷を楽しく低減できるしくみを構築運用しながら、さらに、それを地域全体に広めてまいります。たとえ自らの取組の成果は小さくとも、その活動が連鎖的に広まっていけば、やがて大きな削減効果へつながっていくものと確信しています。

私たちは、暮らしの安全・安心を担う企業として、地域の環境保全が重要な経営課題であることを認識し、次世代に美しい自然を残せるよう、企業の社会的責任を果たしていきます。

<行動指針>

- § 地球温暖化防止のため、楽しい節電・省エネの取組を考え、実行します。
- § お客様の環境負荷の削減につながる取組を提案し、実践します。
- § 環境と安全に配慮した運転を心がけます。
- § 環境関連法規等を順守します。
- § 社内の整理整頓を心がけ、身近な環境保全を見失わないようにします。
- § 様々な環境情報を発信し、お客様との共有化を図ります。
- § SDGs（持続可能な開発のための2030アジェンダ）を意識しつつ、環境問題を幅広く捉えて、行動していきます。
- § 環境経営システムを定期的に見直し、継続的に改善していきます。

制定日 : 2014年10月1日
最終改定日 : 2020年11月16日



東北警備保障株式会社

代表取締役 武田誠一郎

2. 組織の概要



2-1. 事業所名及び代表者氏名

- 東北警備保障株式会社
- 代表取締役 武田 誠一郎

2-2. 所在地

- 本社：〒992-0119 山形県米沢市アルカディア1丁目808番地17

2-3. 環境管理責任者及び担当者連絡先

- 環境管理責任者 漆山 裕
- 連絡担当者 遠藤智広
- 連絡先：TEL 0238-29-0005 FAX 0238-29-0015
- Email : tomohiro_endo@next-alert.co.jp



2-4. 設立年月日

- 1972年（昭和47年）2月26日

2-5. 資本金

- 1,000万円

2-6. 事業活動の内容と対象サイト (認証・登録範囲)

社屋全景。1階は系列会社のネクスト環境コンサルタントが使用しています。2階は事務室などで主に当社が使用しています。2021年2月に増築工事（写真左奥）が完成しました。

■ 事業活動：全活動

交通誘導及び雑踏警備に関する業務、建物及び設備の警備・保守・清掃等業務、指定管理業務、防犯・防災グッズ販売

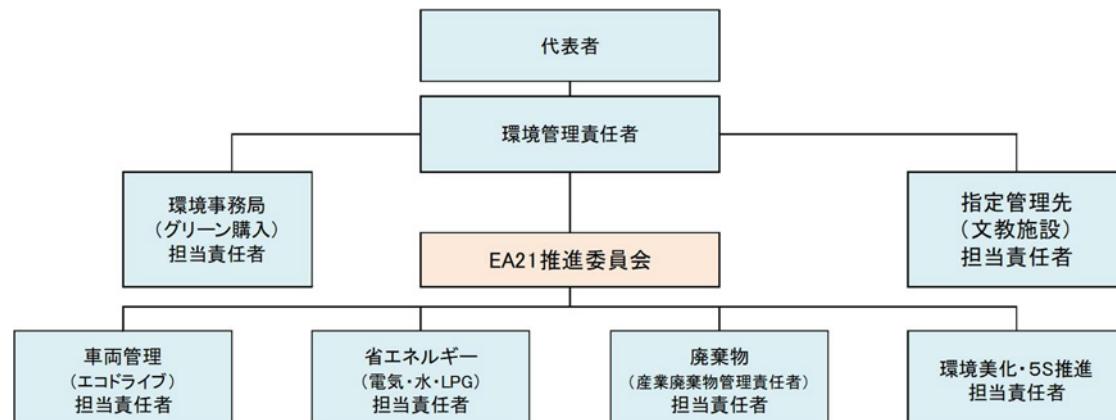
■ 対象組織：全組織（警備統括部門・営業事務企画統括部門・指定管理部門）

■ 対象サイト：本社・指定管理施設

※対象組織は、業務受託現場に常駐する社員も含めた全社員とします。また、本社に常駐するグループ各社（ネクスト環境コンサルタント・セキュリティプレシャス）の社員にも取組への協力を求めることとします。

※対象サイトについては、本社ならびに指定管理施設とします。ただし、指定管理施設における取組については、その契約内容に応じて、可能な範囲で行うこととします。

2-7. エコアクション21実施体制



2-8. 事業の規模

活動規模	単位	2021年度 (2020.10～ 2021.9)	2022年度 (2021.10～ 2022.9)	2023年度 (2022.10～ 2023.9)	2024年度 (2023.10～ 2024.9)	2025年度 (2024.10～ 2025.9)
売上高	千円	411,135	439,707	474,961	536,000	618,000
従業員(対象／全体)	人	85	96	93	95	86
床面積(1, 2階合計)	m ²			601.8		
床面積(2階部分)	m ²			299.5		

※売上高は、当社会計年度(10～9月)に合わせて集計。また、従業員数は各年度10月1日時点での在籍人数(短時間労働者を0.5人で計算)。



3. 環境経営目標とその実績

3-1. 環境負荷の現状(2025年度環境負荷自己チェック結果より)

■ 二酸化炭素排出量

※電力使用に係る二酸化炭素排出係数については、東北電力の2022(R4)年度実績値(調整後)0.471kg-CO₂/kWhを用いています。

※電力使用量については、当社が主に使用している2階スペース使用分を対象としました。なお、1階(実験室等)は系列会社であるネクスト環境コンサルタント(株)(以下「ネクスト」と略)が主に使用しています。

ガソリンはすべて当社使用分です。灯油は暖房用、LPGは給湯用です。軽油は除雪機用ですので、厳密には単独使用ではありませんが、使用割合、管理主体から判断して、当社の負荷とします。なお、LPGに関しては、増改築後、ネクストと一緒に計量となつたため、使用量が多いネクストで計上することとしました。

1)当社における2025年度(2024.10～2025.9)のCO₂排出量は、合計56,524 kg-CO₂となっており、2024年度比で3.8%増加しました。これは、平均的な一般家庭約16軒分の排出量に相当します。

※2023年度1世帯あたりの平均年間排出量:3,608 kg-CO₂(出典:温室効果ガスインベントリオフィス)

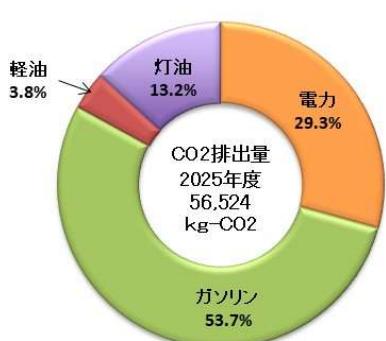
2)当社から排出されるCO₂の71%は化石燃料の使用に伴うもので、その中でもガソリンが30,327 kg-CO₂で全体の54%を占めていることが判りました。次いで、電力使用に伴うものが16,559 kg-CO₂で29%，灯油が7,472 kg-CO₂で13%となっていました。

3)ガソリンは、警備業務あるいは営業車両の運行に伴い消費され業務量に比例して増加します。

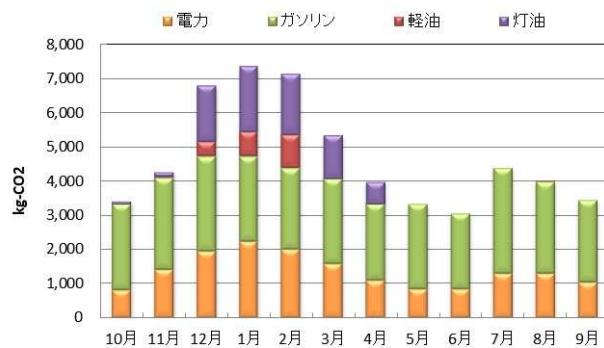
4)月別のCO₂発生量は12月～3月の冬期間(降雪期)に多くなっています。これは、暖房用の灯油と除雪機の燃料である軽油の消費量が増加するためです。電気使用量も冬期間に増加する傾向が見られます。

5)以上のことから、車両運行に伴うガソリンの消費や事務所での電気ならびに灯油使用量をいかに減らしていくかが取組の重点課題となります。

<二酸化炭素排出源(2025年度)>



<月別二酸化炭素排出量(2025年度)>



■ 廢棄物排出量

1)一般廃棄物：※ネクスト排出分を含む

年間の総排出量は1,071 kgとなっています。2024年度比で1.6%増加しました。可燃ゴミ(焼却)の排出割合が最も多く、606 kg(57%)を占めています。以下、紙類(新聞・雑誌類等)が118kg(11%)、段ボールが273 kg(25%)、不燃ごみ(埋立)が24kg(2%)などとなっています。紙類、ダンボール、空き缶、ペットボトルは再資源化されています。

2) 産業廃棄物

本年度の産業廃棄物の排出量は556 kgで、昨年度から46%増加しました。機械警備契約先でのセンサー設置工事などで生じた混合廃棄物が最も多く340 kg(61%)を占めています。同じく工事に伴う廃プラ(配線くずなど)を170 kg(31%)排出しています。

■ 総排水量(水使用量):※ネクスト使用分を含む

本年度は513 m³を使用し、昨年度より、3.2%増加しました。地下水等の利用はないことから、上水使用量と総排水量は等しくなります。ネクストで器具洗浄用水として使用する他は、ほぼ生活用水ですが、若干洗車にも使用しています。

■ 化學物質使用量

PRTR対象化学物質の使用はありません。

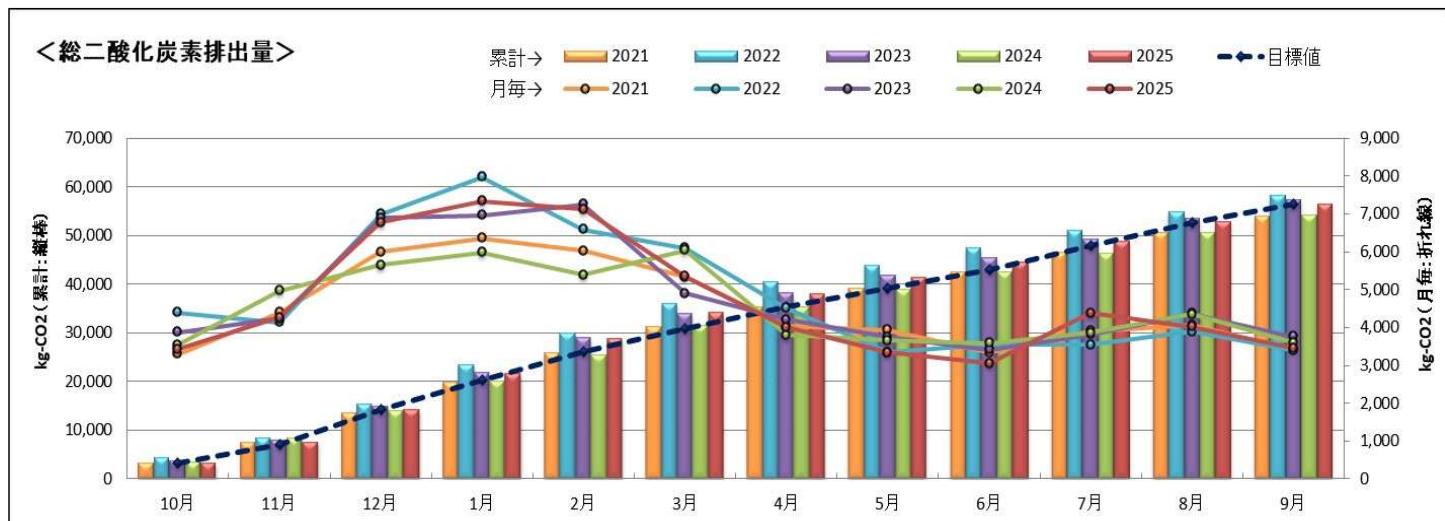
3-2. 環境経営目標(单年度・中期)と達成状況

環境経営方針との整合性を図りながら、環境負荷の自己チェック結果を踏まえ、6項目（二酸化炭素、廃棄物、水、製品・サービス関連、地域貢献対応項目）について、環境経営目標（単年度目標＆3年間の中期目標）とその達成に向けた環境経営計画を策定し、取組みを行いました。達成状況は下記のとおりです。

■ 総二酸化炭素排出量

【2025年度目標】2015年度比37%削減

【中期目標(2025～2027)】2015年度比39%削減



- 2015年度実績:89,758 kg-CO₂
 - 2025年度目標:56,547 kg-CO₂
 - **2025年度実績:56,524 kg-CO₂**
 - 増減量:-33,234 kg-CO₂
 - **増減率:-37.0%**

二酸化炭素排出量と連動する電力、ガソリン、軽油、灯油の要素が絡んでいます。(個別の評価は各項目のコメント欄を参照下さい)
電力の使用量が冬期間寒い日が続いたことから増加したもの、ガソリンの使用量が減少したことから、全体として、ぎりぎりではありますが、目標を達成できました。(2024年度よりも3.8%増加)

■ 電力使用量

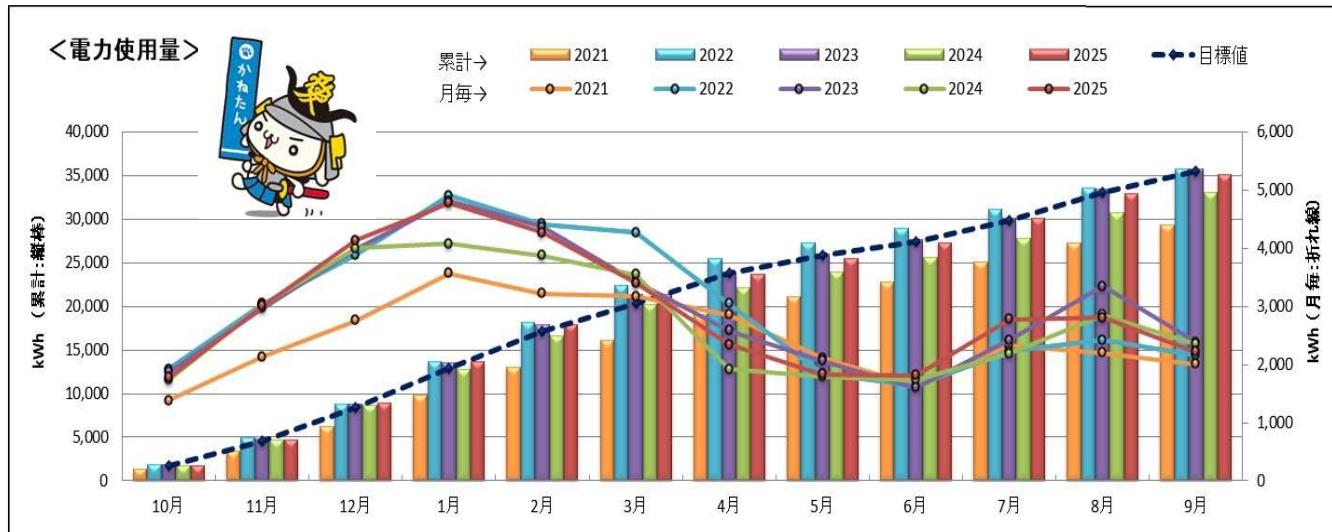
【2025年度目標】 2023年度比5%削減⇒1%削減

【中期目標(2025~2027)】 2023年度比5%削減⇒3%削減



変更後の

目標達成!



- 2023年度実績: 35,819 kWh
- 2025年度目標: 34,028⇒35,461 kWh
- **2025年度実績: 35,158 kWh**
- 増減量: -661 kWh
- 増減率: -1.8%

冬期間、寒い日が続き、エアコンの使用負荷が増加したものと考えます。夏季も例年なく暑い日が続きましたが、平年並みの使用量で推移し、変更後の目標はクリアできました。

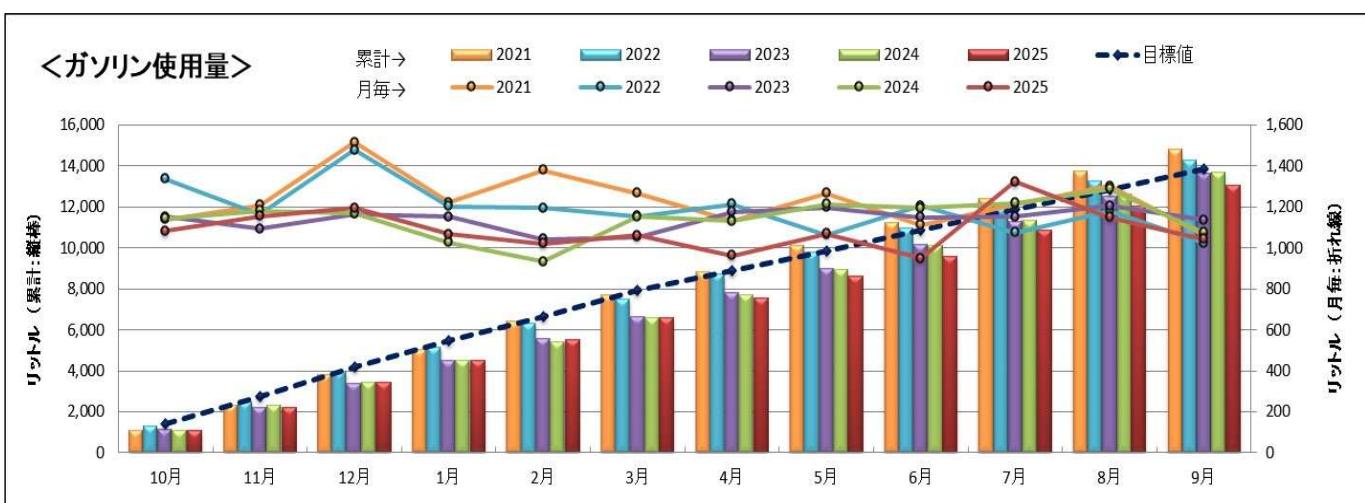
■ ガソリン使用量

【2025年度目標】 2016年度比52%削減

【中期目標(2025~2027)】 2016年度比54%削減



目標達成!



- 2016年度実績: 28,907 ℥
- 2025年度目標: 13,875 ℥
- **2025年度実績: 13,072 ℥**
- 増減量: -15,835 ℥
- 増減率: -54.8%

11月、12月と機械警備の異常信号対応件数が多かったのがガソリン使用料が増えた原因と思われます。（「■発報・出動回数」参照）
1月以降は、平年並みに推移し、目標をクリアできました。5年連続で減少傾向が続いている。

■ 車両燃費向上

【2025年度目標】2023年度比2%向上
【中期目標(2025～2027)】2023年度比4%向上



両部門ともに

目標未達...



車両燃費の推移(累計)



- 2023年度実績: 機動12.6 km/l・工事営業14.3 km/l
- 2025年度目標: 機動12.9 km/l・工事営業14.6 km/l
- 2025年度実績:** 機動12.7 km/l・工事営業13.2 km/l
- 向上率: 機動1.0% (向上)・工事営業7.6% (低下)

使用条件が部門(機動と工事営業)で大きく異なるため、本年度から別々に目標を設定することにしました。機動部門の車両は4駆であること、また、厳寒期や夏季の待機時間のアイドリング時間が多く、どうしても燃費が悪くなってしまいがちです。社員の健康管理上、無理のない範囲で、今後もアイドリングストップや不要な荷物を積まないなど、エコドライブに努めていきます。



■ 灯油使用量

【2025年度目標】2023年度比2%削減
【中期目標(2025～2027)】2023年度比4%削減

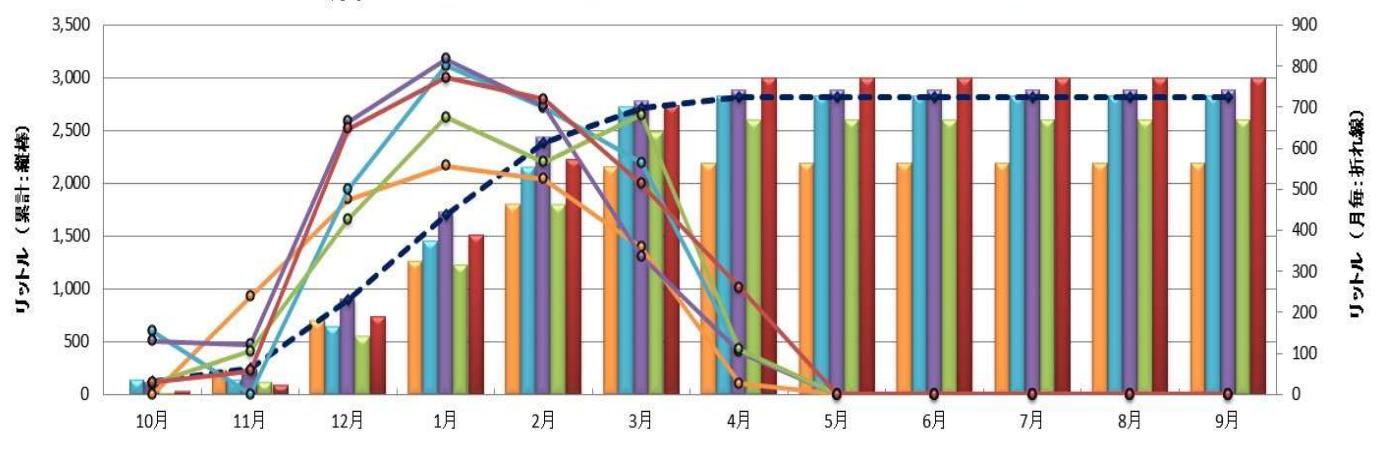


目標未達...



<灯油使用量>

累計→ 2021 2022 2023 2024 2025
月毎→ 2021 2022 2023 2024 2025

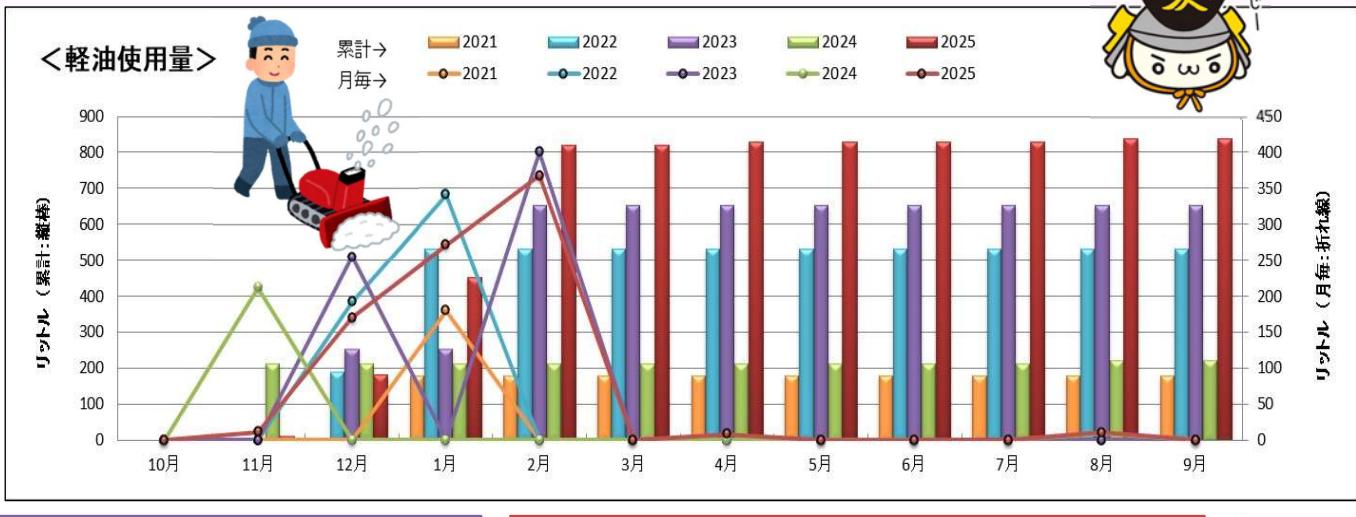


- 2023年度実績: 2,878 ℥
- 2025年度目標: 2,820 ℥
- 2025年度実績:** 3,001 ℥
- 増減量: 123 ℥ (増加)
- 増減率: 4.3% (増加)

冬期間、例年より寒い日が続き、エアコンとペレットストーブ併用しても適正温度に維持することができず、スポット的に石油ファンヒーターに頼らざるを得ませんでした。



■ 軽油使用量



- 2014年度実績: 1,888 ℥(過去最高値)
- **2025年度実績: 839 ℥**

除雪機の燃料に使用しています。降雪量により変動するため、目標設定は行っていません。2025年度は、近年になく降雪量が多い年でした。除雪業務の契約先自体も増えているので、例年より大幅に使用量が増加しました。

13 気候変動に具体的な対策を

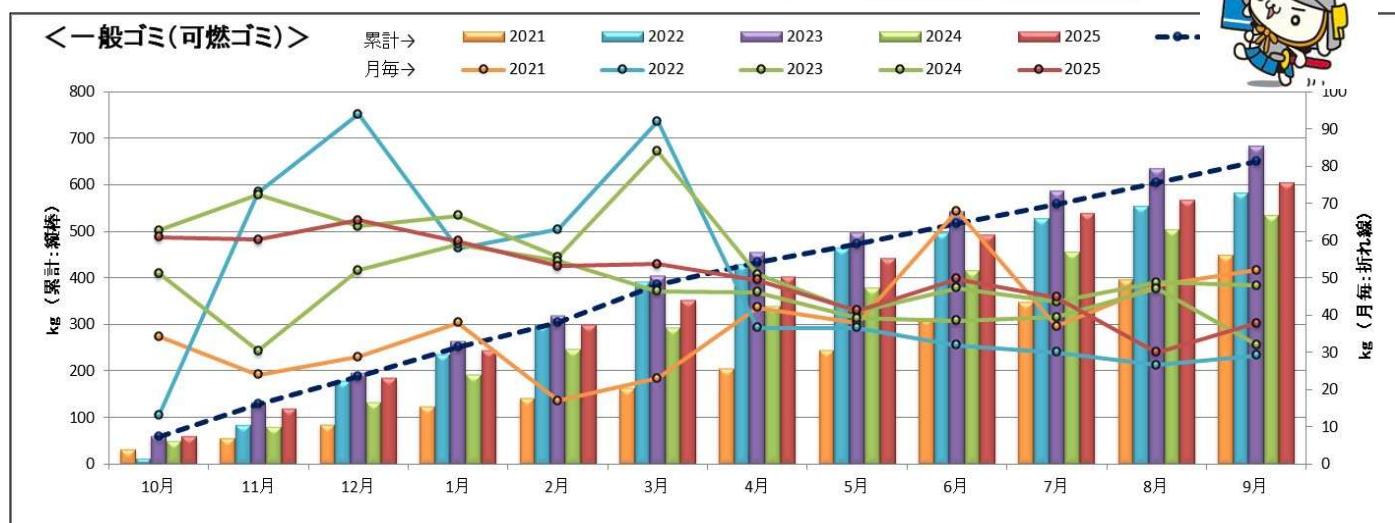


■ 一般廃棄物排出量(可燃ごみ)

【2025年度目標】2023年度比5%削減
【中期目標(2025~2027)】2023年度比7%削減



目標達成!



- 2023年度実績: 685 kg
- 2025年度目標: 650 kg
- **2025年度実績: 606 kg**
- 増減量: -78 kg
- 増減率: -11 %

ネクストで排出した分も含め按分しています。昨年度よりは、増加しましたが、目標をクリアできました。今後も分別の徹底やペーパーレス(溶融処理を含む)の取組みを一層強化し、さらなる削減を目指します。

■ 産業廃棄物排出量(対象:混合廃棄物)

- 2024年度目標: 設定しない
- **2025年度実績: 340 kg**

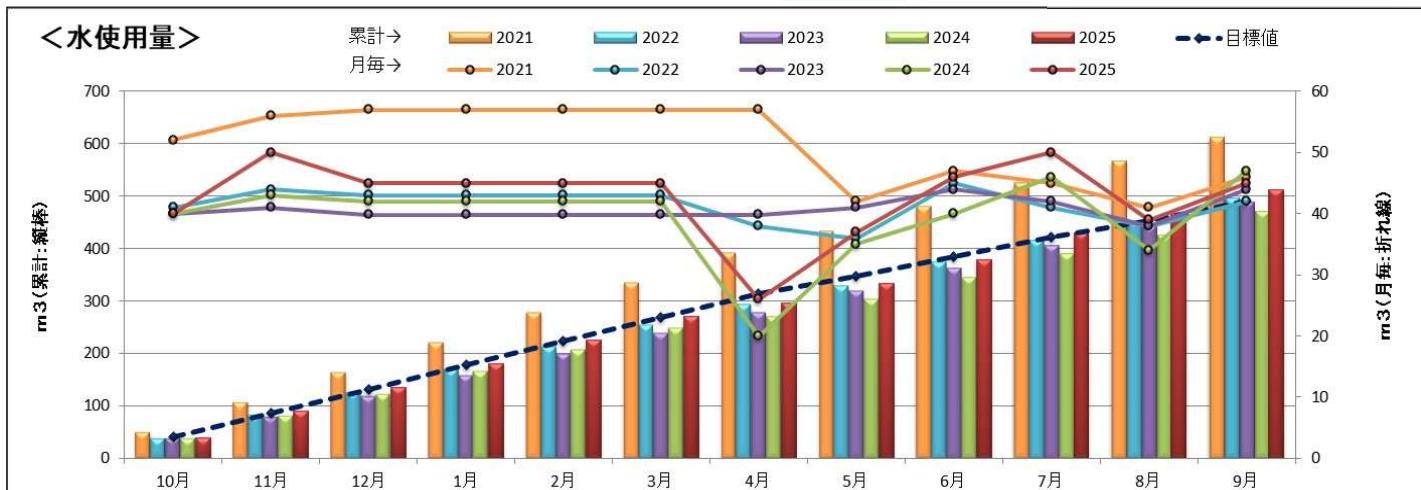
客先での工事の際に排出するものがほとんどであり、事実上管理削減するのは難しい状況です。目標の設定はせず、分別収集の取り組みを行っていきます。今期は、混合廃棄物を340 kg排出しました。昨年度(100kg)に比して大幅に増加しました。

■ 総排水量(水使用量)

【2025年度目標】2021年度比20%削減を維持
【中期目標(2025~2027)】同上



削減はできているが
目標には届かず



- 2021年度実績: 614 m³
- 2025年度目標: 491 m³
- **2025年度実績: 473 m³**
- 増減量: -101 m³
- 増減率: -16.4 %

ネクストで使用量した分と合算での評価となっています。ネクストでの器具洗浄用以外は生活用水での利用なので、ここ数年は大きな変動もなく、落ち着いた状況で推移しています。本年度は、夏場に暑い日が続き、花壇への散水などが増加したため、例年より、若干増加しました。



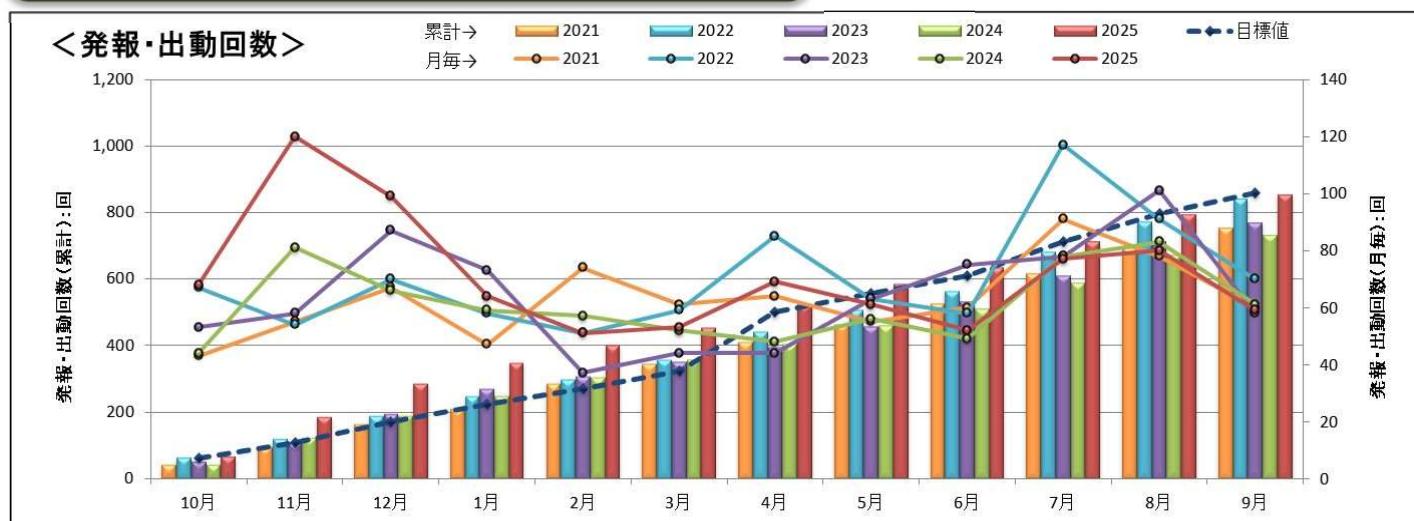
■ 製品・サービス関連

1)誤作動による出動回数の削減

【2025年度目標】2022年度比10%削減
→上半期の実績を基に修正
【中期目標(2025~2027)】2022年度比12%削減
→2025年度の実績を基に設定



変更後の
目標達成!



- 2022年度実績: 843 回
- 2025年度目標: 750 回 → 859回
- **2025年度実績: 853 回**
- 増減量: +10 回 (増加)
- 増減率: +1.2 % (増加)

11、12月と発報・出動回数件数が多かった原因是蛾の侵入によるものが大半でした。客先に蛾が室内に入らないように対策を取っていただくようお願いし、その後は平年並みに戻すことができました。下期は、このときの増加分を補正した目標に変更しています。(4月以降、基準年度実績値 × 0.9+100で設定)
毎年夏場に虫の飛来によるセンサー誤動作により、発報回数が増加しますが、本年度は、センサーの角度調整、早めのメンテナンスにより、出動回数を減少させることができました。

2)社内報(東警だより)の発行

年4回季節ごとに社内報「東警だより」を発行しています。現場に常駐する社員が多いことから、今後とも社内報や警備業法による教育の機会を活用し、環境コミュニケーションならびに情報の共有化を図っていきます。

社員のみならず、お客様にも様々な環境情報を発信していきます。



社内報に掲載された記事をご紹介します。



eco エコアクション21

～会社周辺ゴミ拾い実施～

10月7日（月）エコアクション21活動の一環として会社周辺の清掃活動を実施しました。年2回の活動ですが、前回実施した春に比べゴミの量も減り、以前多くみられた空き缶や空ペットボトルなども指定の場所へきちんと捨てられているのみてうれしい気持ちになりました。ゴミ拾いは誰でも気軽にできる社会貢献活動なので、今後も継続して地域の環境をより良くしていきたいと思います。

エコアクション21 2024年度 活動報告

活動項目を分けて年間目標値を設定し、目標達成に向けて活動に取り組んで参りました。

電力使用量 目標35,461kWh 実績33,097 kWh	ガソリン使用量 目標13,875ℓ 実績13,722ℓ	車両燃費向上 目標13.5km/ℓ 実績13.1 km/ℓ	水使用量 目標491m ³ 実績473m ³	一般廃棄物 排出量（可燃ごみ） 目標671kg 実績536kg	誤作動による 出動回数の削減 目標776回 実績734回
--------------------------------------	-----------------------------------	-------------------------------------	--	--	---------------------------------------

目標達成！ 目標達成！ 目標未達 目標達成！ 目標達成！ 目標達成！

皆様のご協力により無事活動を継続することができました。
活動内容につきましては弊社ホームページにて公開しております。



～旬のエコアクション～

春はエコ活動を始めるには最適な時期です。春のエコ活動のアイデアをいくつか紹介します。

- 植樹活動：春は新しい植物が育ち始める季節です。地域の公園や緑地での植樹活動に参加することで環境保護に貢献できます。
- 花壇の整備：自宅や地域の花壇を美しく整備し、蜜蜂や蝶などを呼び寄せる植物を植えることは、生態系への良い影響を与えます。
- リサイクルの見直し：春は家中を整理する良い機会です。使わなくなった物をリサイクルし、不要なものを減らすことで資源の節約に繋がります。
- エコな掃除：家庭内の掃除にエコな洗剤や天然素材を使うことで、環境に優しい清掃ができます。
- マイボトル・マイバッグの利用：お出かけに自分専用の水筒やエコバッグを持参することで、使い捨てのプラスチックを減らすことができます。
- 家庭菜園の開始：春は家庭菜園を始める絶好の時期です。自分で野菜やハーブを育てることでフードマレイジを減らし新鮮な食材が手に入ります。
- 環境教育への参加：地元の環境保護団体や学校でのワークショップやイベントに参加し、環境問題について学ぶのも良い方法です。
- サステナブルなファッションの選択：春のコーディネートを新調する際にはエコ素材やリサイクル素材で作られた服を選ぶようにしましょう。

これらの活動を通じて春を楽しみながら少しでも環境保護に貢献できると良いですね。

～エコアクション21～ 会社周辺清掃実施

5月12日エコアクション21活動の一環として、会社周辺の清掃活動を行いました。年2回の実施になりますが、今後も継続していきたいと思います。

～清掃活動をした社員からの感想～

空き缶・空のペットボトルなどが多く、タバコの吸い殻など小さなものが草むらに隠れていて見つけるのが大変でした。清掃後はとてもきれいになり、いっぱいになったゴミ袋を見て達成感を感じ継続して行う必要があると感じました。今後も環境への意識を高め、職場環境だけではなく地域の環境をより良くし、地域に貢献していきたいと思います。



■ 地域環境保全活動

1) 環境保護団体への協力

山形県と山形県地球温暖化防止推進センターが進める「山形県地球温暖化対策推進事業所」に登録しています。



2) 会社周辺の清掃・美化活動(ごみ拾い・みどりのカーテン等)

年2回、会社周辺の草取りとごみ拾いを実施しています。また、南側の窓には、毎年「みどりのカーテン」を植栽しています。



4. 環境経営計画と取組結果並びに次年度の取組内容



4-1. 2025年度(2024年10月～2025年9月)環境経営計画と取組結果

<評価判定の目安>

○…実施済。80%以上の社員が取組んでいる。80点以上の満足度である。

△…一部未実施。50～80%の社員が取組んでいる。50～80点ぐらいの満足度である。

×…未実施。50%未満の社員しか取組んでいない。50点未満の満足度である。(是正処置の対象)

環境目標	活動・取組項目	活動の具体的な内容 (どのように)	実施時期 (いつまでに)	場所・対象者 (どこで)	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	備考、是正処置の必要性等
二酸化炭素排出量削減	■消費電力の削減	■ 室温は、暖房期20°C、冷房期28°Cで管理	冷暖房期間	事務所等	○	○	○	○	随時、温度計でチェック
		■ サーキュレーターを稼働させ、室内温度差をなくす	暖冷房期間	事務所等	○	○	○	○	気づいたらつける
		■ 使用していない部屋のエアコンはOFF	冷暖房期間	事務所等	○	○	○	○	気づいたら消す
		■ 定期的にエアコンのフィルターの清掃と点検	11・2・5・8月	事務所等	○	○	○	○	スケジュール表で管理
		■ 不要な照明は消灯	通年	事務所等	○	○	○	○	気づいたら消す
		■ クールビズの推進(機能性下着の着用)	夏期	全社員			○		スケジュール表で管理
		■ ウォームビズの推進(保温性の高い下着の着用)	冬期間	全社員	○	○			朝礼等で声がけ
		■ パソコンは省エネモードで使用	通年	事務所等	○	○	○	○	3ヶ月ごとに設定をチェック
		■ トイレの暖房便座は夏期OFF(温水の温度設定は「低」)	夏期(通年)	トイレ	○	○	○	○	随時設定をチェック
		■ 「見える化」の推進(電力使用量等の掲示)	毎月	事務所等	○	○	○	○	更新時朝礼等で周知
の削減と適正管理	※製品・サービス関連目標	■ エコドライブの教育研修	1月	運転者全員	○	○	○	○	スケジュール表で管理
		■ エコドライブ自己評価を実施(チェック表による)	10, 1, 4, 7月	運転者全員	○	○	○	○	チェック表の回収・記録
		■ 燃費・走行距離の把握(車両日報の記入)	通年	運転者全員	○	○	○	○	記載状況の確認
		■ 5000km(6ヶ月)ごとにオイル交換、10000km(1年)ごとにエレメント交換(ハイブリッド車は別途規定する)	通年	車両	○	○	○	○	伝票と車両日報
		■ 適切な時期でのタイヤ交換	4月・11月	車両管理者	○		○		車両日報
		■ 適切な空気圧の維持	通年	車両管理者	○	○	○	○	車両日報
		■ エコタイヤの導入	通年	業務管理者	○	-	○	-	車両日報
		■ 不要な荷物を乗せたままにしない	通年	車両管理者	○	○	○	○	定期的な確認
		■ 業務の効率化(車両運行ルートの管理)	通年	業務管理者	○	○	○	○	朝礼等で確認
		■ 計画的な低燃費車両への入れ替え	5ヵ年計画	全車両	-	-	-	-	代表者による見直しの記録
の削減と適正管理	■ その他化石燃料の削減(軽油・灯油・LPG)	■ 除雪機の運転条件の設定(積雪量等)	降雪期	業務管理者	○	○	-	-	推進委員会で報告
		■ ファンヒーターは厳寒期に区切られたエリアでのみ使用する	冬期間	事務所	○	○	-	-	随時声がけ
		■ ファンヒーターは補助的に使用し、エアコン、ペレットストーブを優先する	冬期間	事務所	○	○	-	-	随時声がけ
		■ 必要最低限の温度で給湯(夏期は使用しない)	通年	流し台	○	○	○	○	随時設定をチェック
		■ 分別状況の確認	随時	事務所等	○	○	○	○	分別ルール(掲示物)作成
		■ 廃棄物置場の整理整頓	通年	廃棄物置場	○	○	○	○	定期的な確認
		■ 不要な資料・カタログ等の辞退・返却	通年	全社員	○	○	○	○	適宜声がけ
		■ コピー用紙削減(両面コピー・裏紙利用の徹底)	通年	事務所	○	○	○	○	適宜声がけ
		■ 私的ごみの持ち帰り(コンビニ弁当容器等)	通年	事務所	○	○	○	○	適宜声がけ
		■ 一般廃棄物の排出量記録／シュレッダーごみの溶融処理	排出時	廃棄物置場	○	○	○	○	記録表をチェック
の削減と適正管理	■ 一般廃棄物の削減(リサイクルの推進)	■ 社内の整理整頓	随時	社内外	○	○	○	○	随時巡回確認
		■ 保管場所の管理(安全衛生状態も含む)	通年	廃棄物置場	○	○	○	○	随時巡回確認
		■ 充電式乾電池への転換	通年	現場	○	○	○	○	推進委員会で報告
		■ マニフェスト・契約書類の管理	通年	事務所	○	○	○	○	6ヶ月毎に定期チェック
		■ 委託先の状況確認	奇数年度6月	委託先	-	-	-	-	環境コミュニケーション記録

総排水量の削減	■水道使用量の削減	■「節水」の監視強化	通年	流し台	○	○	○	○	NEXTと共同で実施
		■掲示物の更新	随時	流し台・トイレ	○	○	○	○	NEXTと共同で実施
グリーン購入	■グリーン購入	■グリーン購入ネットワーク(GPN)認定品(エコ商品)の選定	物品購入時	事務所	○	○	○	○	随時情報収集
		■事務消耗品のエコ商品購入率の把握	3ヶ月ごと	事務所	○	○	○	○	3ヶ月毎にデータ収集
		■車両・設備・機械等購入時のルール確立と実践	購入時		○	○	○	○	EA21推進委員会で報告
～製品自 サ主 ビ定 ス項 関連	■環境情報の発信と 情報の共有化 (社内報の発行等)	■情報の収集・原稿等の依頼(社内・社外)	随時		○	○	○	○	朝礼・ミーティング時を活用
		■社内報の発行	年4回 (10,1,4,7月)		○	○	○	○	スケジュール表で管理
		■自社HP等の更新	随時		○	-	-	-	EA21推進委員会で報告
	■誤作動による 出動回数の削減	■過去の異常発信データの解析と原因分析	通年		○	○	○	○	EA21推進委員会で報告
		■改善策の検討と実施	通年		○	○	○	○	EA21推進委員会で報告
		■計画的なセンサー交換	通年		○	○	○	○	EA21推進委員会で報告
地域貢献活動	■環境保護団体への協力	■「NPO環境ネットやまがた」の支援・協力	通年	事務所	○	○	○	○	「家庭のアクション」への参加
	■会社周辺の清掃活動	■周辺道路のごみ拾い、草刈りなどの実施	年2(冬季間無)	会社周辺	○	-	○	-	環境コミュニケーション記録
	■敷地内緑化の推進	■フローラーポットに花を植える	年3回	会社敷地内	-	-	○	-	環境コミュニケーション記録
	■バイオマスの活用	■ペレットストーブの活用	冬期間	事務室	○	○	-	-	

【環境経営計画取組状況の総括】

2015年8月の認証登録以来、エコアクション21の取組みも10年が経過し、設定した環境経営計画の取組みは、社員にほぼ定着し、当たり前のことになっています。裏を返せば、マンネリ化しているとも言えます。また、現在の取組み内容では、残念ながら、環境負荷(二酸化炭素)の削減という結果には、必ずしもつながっていないというのが現状と言わざるを得ません。

「脱炭素化」、「RE100」などの「世の中の流れ」を意識しながら、もっとも環境負荷の大きいガソリンの消費量を削減すべく、計画的にCEVへのシフトを進めていく必要があると感じています。また、マンネリ化を打破すべく、社員からの「新しく、効果的で、楽しい」取組みの提案を期待します。

4-2. 次年度の環境経営目標と環境経営計画の概要

■ 環境経営目標

- 1) 2025年度の取組み結果を踏まえ、現実的に達成可能なレベルで目標設定を行い、モチベーションを下げることなく、継続した取組みを推進していきます。
- 2) 各目標項目について、SDGs(持続可能な開発目標)と関連付けて、取組みの推進を図っていきます。
- 3) 総二酸化炭素排出量については、これ以上の削減がなかなか難しい状況になってきていることから、経営環境を見据えながら、助成金の活用などを視野に入れ、直接CO₂の削減につながるような設備投資を計画的に行っていきます。
- 4) 機動車両1台をCEV車に更新します。(2025年10月)

■ 環境経営計画

- 1) SDGsに関する教育を実施し、取組みを推進していきます。
- 2) 些事(些細なこと)の積み重ねを大切にしていきます。
- 3) 誤発報による出動回数の削減に向けた取組みを推進します。
- 4) 社員の改善提案による取組みを積極的に採用していきます。
- 5) 再生可能エネルギー100%電力への切替を検討します。
- 6) 脱炭素先行地域(米沢市・飯豊町)関連事業に協力していきます。



eco エコアクション21
今年も活動中！

5. 環境関連法規等の順守状況、訴訟等の有無



5-1. 適用を受ける環境関連法規等とその順守状況

当社に適用される主な環境関連法規について、2025年6月1日付で順守状況を確認した結果、下記のとおり、順守状況に問題点はありませんでした。

- 米沢市火災予防条例：敷地北側に設置してある軽油タンクが少量危険物貯蔵所に該当しますが届出も行われており、漏えい事故等の発生はありませんでした。
- 廃棄物処理法：マニフェスト、契約書の管理は問題ありません。また、マニフェスト発行実績の報告も実施済みです。なお、県外の中間処理・最終処分業者については、HPならびに産廃情報ネット等によって、情報を収集することとします。
- フロン排出抑制法：事務所に設置しているエアコンについて、簡易点検を実施しています。
- 自動車リサイクル法：業者に依頼し、適切に廃車処理をおこなっています。

5-2. 訴訟等の有無

環境面での訴訟、行政処分等は、創業以来、一度もありません。また、外部からの環境に関する苦情は、過去3年間ありません。

6. 代表者による全体の評価と見直し・指示の結果



本年度の冬は平年より寒く、積雪も多かったので、電気や灯油の使用量が増加し、目標未達となってしまいました。しかし、それは原因が明らかであり、快適な職場環境を維持する上では、ある程度、やむを得ないとだと思っています。一方で、当社において、最も環境負荷の大きいガソリン使用量の削減関連目標として掲げている燃費の向上について、取組開始以降、減少傾向に歯止めがかからないことについては、なんとかしなくてはならないと感じています。社員の体調管理が第一であることは言うまでもありませんが、エコドライブ教育、猛暑日や厳寒期以外のアイドリングストップなど、基本的対策の徹底を図るとともにCEV車への更新を加速していきます。

また、2025年5月に米沢市と飯豊町が環境省が進める脱炭素先行地域に指定されたことを契機として、より一層、カーボンニュートラルに向けた取組を加速していく所存です。



2025年11月10日

代表取締役 武田誠一郎

<EA21環境経営システム変更の必要性と主な変更内容>

- 環境経営方針：変更せず
- 環境経営目標：継続（目標値は適宜見直し）
- 環境経営計画：中長期的な計画としてカーボンニュートラルを意識した計画を盛り込むこと
- 実施体制：継続
- 環境経営システム全般：変更はない。

その他の環境活動

「東警だより」より

情報提供

コラム

夏型交通事故に注意！

交通安全

交通事故が多くなるのは降雪時期ですが、次に多くなるのが夏であり、一般的にはこの時期に発生する交通事故は「夏型交通事故」と呼ばれています。

夏型交通事故は降雪時期の事故と比べ、重大交通事故の発生の割合が多くなり、なぜこのような事故が発生するのかその原因を紹介します。

- ・高温多湿による疲労が原因のぼんやり運転や居眠り運転
- ・台風やゲリラ豪雨などの天候の急変
- ・夏休みシーズンの渋滞
- ・免許を取り立ての方の運転機会が増える
- ・夏休みや帰省の影響で普段運転しない人の運転機会が増える



事故が発生しやすい時間帯にも特徴があり、11時から14時までの間の気温が一日の中で最も高くなる時間帯や17時から20時までの間の夕方から完全に暗くなるまでの薄暮時間帯が、事故のリスクが大きくなりますので次の事に注意して運転するように心がけましょう。

- ・車内を涼しくしろまめに水分補給を行う
- ・疲れを感じる前に休憩をする
- ・台風やゲリラ豪雨の時は運転を控える
- ・前方の事故や渋滞に気が付いたら早めにハザードランプを点灯し後続車に知らせる
- ・前を見て運転に集中し、夏休みシーズンの子供の飛び出しなどに気を付ける
- ・脱げやすく咄嗟のブレーキ操作に影響のある履物(サンダルなど)はNG



これらのポイントに特に注意し、交通事故の加害者にも被害者のもならないよう安全に運転していきたいものです。

人材育成

資格を取って、モチベーションアップ！
自分の仕事に誇りとプライドを持ちましょう。



施設警備業務2級 資格取得を目指して(機械警備G、常駐警備G)

本資格については県内において年1回開催されております。
本年も当社から2名が挑戦し、9月27日・28日に事前講習、10月11日・12日に本講習試験がそれぞれ実施され終了したところです。



試験の中身を紹介すると、学科試験と実技試験の2種類で構成されています。
学科試験については施設警備業務下記内容から5者択一の問題(100点満点中90点合格)。

- ・警備業務の基本的事項
- ・関係法令
- ・警備業務対象施設における保安業務
- ・事故発生時における応急措置
- ・その他事故発生時における応急措置



基本的行動・動作、法律、各種業務・機器類操作、災害時対応・人命救助その他多岐にわたります。

実技試験については、

- ・出入管理要領
- ・自動火災報知設備の操作要領
- ・負傷者の搬送要領
- ・警戒杖の基本操作要領
- ・巡回実施要領
- ・警察機関等への連絡要領

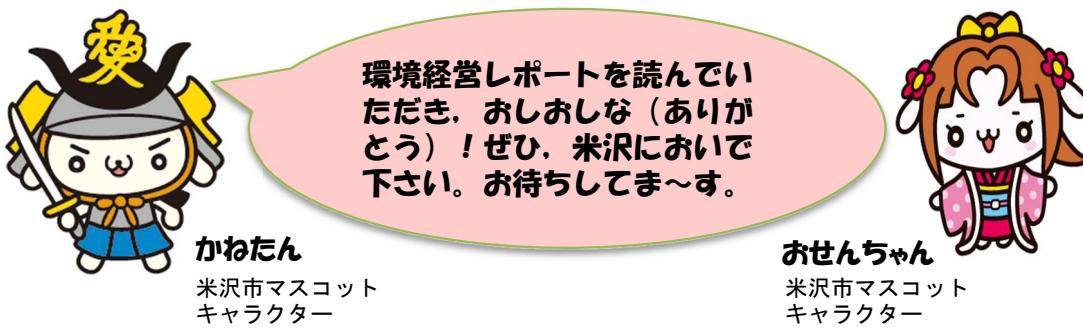
上記6項目にて実施されます。

本資格を取得するためには、施設警備業務を実施する為に必要な基本的スキルを網羅しておかなければなりません。資格取得者から話を聞くと、「とにかく受ける前後では業務に取り組む意識・姿勢が変わった」「業務に自信持てるようになった」等と前向きな意見が返ってきます。それだけ個人の意識・行動も変え、刺激となってくれる資格だと考えます。

今後ともお客様のためにより良い警備を提供できるため1人でも多く資格を取得出来るよう取り組んで参ります。



<アクセス>



この環境活動レポートは、ご希望の方に差し上げています。
ご希望の方は、弊社窓口でお申し出いただかずか、下記宛てご連絡下さい。
また、当社HP (<http://www.next-alert.co.jp>)、エコアクション21
中央事務局のHP (<http://www.ea21.jp>) でもご覧いただけます。

〒992-0111 山形県米沢市アルカディア1丁目808番地17
東北警備保障株式会社

TEL0238-29-0005 FAX0238-29-0015